

業 種	タクシー
取組分野	教育・訓練
テ ー マ	事故原因究明・再発防止のため、ドライブレコーダーを導入・活用した教育・訓練の取組み
取組の狙い	ドライブレコーダーを用いて事故事例を検証し、的確な再発防止策をたてるとともに、その結果を乗務員の指導教育に活用する。
具体的内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成18年より、事故防止のための効果的な乗務員教育の実施や事故処理の迅速化を目的に、運転状況を全て見ることができる常時撮影型のドライブレコーダーを導入しました。 2. ドライブレコーダーの映像を基に、事故惹起者と同一系の所属乗務員（各営業所に概ね12係程度設置、1つの係は8～10名）全員が出席して行う反省会で、事故原因を追究し再発防止について考える場を設けております。 3. 本社の安全管理者担当が事故惹起者に対し、翌月、営業所ごとに再教育を実施しています。内容は、個別の事故防止についての教育と運輸安全マネジメントについて周知徹底のための講義です。 4. 事故多発傾向の乗務員、新人乗務員については勤務時間中に研修の時間を確保して添乗指導を実施します。 5. 事故事例を事故種別（追突、出合頭、信号無視、対歩行者等）ごとに編集したビデオを各営業所に配布し、毎月開催する係員会議の場で、当月の事故防止重点目標「追突事故防止等」にあわせ編集したビデオを見せ、事故防止の啓発と取組みの周知を行っています。
取組の効果	<ol style="list-style-type: none"> 1. ドライブレコーダーの導入・活用を始めた年は、前年に比べ出合頭の事故等の有責事故件数が23%減少しました。 2. 信号交差点での事故等に於いて信号表示の状況や車両の速度が記録されるため、また生活道路等での事故では一時停止の有無等が分かるため事故原因がはっきりわかり、正しい事故対応が出来るようになりました。 3. 乗務員にとっては自分の会社仲間の事故であるため、より真剣に事故防止に教育・訓練に取り組むようになりました。
事業者名	名鉄交通株式会社 交通事業本部（連絡先052-331-2067）

ドライブレコーダーを用いた事故防止のための教育・訓練

■ 事故予防会議（管理者、事故予防委員概ね15名）

1. 毎月1回開催 当月の事故の反省、翌月以降事故防止重点施策策定

■ 事故惹起者の反省会（当該乗務員・係員全員）



私の事故は〇〇が原因で発生しました。

本当に〇〇が原因か皆で考えましょう。再発防止策も検討して下さい。



ドライブレコーダーを見ると、事故原因は一目瞭然ですね。的確な指導が出来ますし、再発防止策もたてられます。

■ 営業所での再教育

1. 事故発生から1ヵ月、事故惹起者反省会のときに当該乗務員が事故防止のために自分自身に誓った約束を守って安全運転しているか確認します。
2. 運輸安全マネジメントの取組み、理念について周知徹底の場とします。
3. 再教育の結果を次回の事故予防会議に活用します。

